



平成27年度 西区実施プラン

I 西区の使命

区民だれもが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、区民の自主的な活動を支援しながら、区民が主役のまちづくりを進めていくことが西区の使命です。

II 西区の目標・運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく環境・文化芸術・防災の各事業を中心に行うとともに、次の方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を活かしたまちづくりを進めます。
- ◆ 安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
- ◆ 区民から親しまれ信頼される区役所を目指して、市民感覚を大切にし、市民の立場に立って仕事を進めます。

西区の運営方針に基づき各部では次の目標を掲げます。

- ◆市民部・・・さまざまなまちづくり活動の推進支援と区民の声を活かした区役所運営の推進
- ◆土木部・・・道路、公園での安全・安心・快適と創造性を育む空間の提供
- ◆保健福祉部・・・子どもから高齢者までだれもが地域で安心して暮らせる地域福祉の推進

1 環境にやさしいまちづくり

西区環境まちづくり協会を中心とした環境活動の支援

住民による環境活動が定着・継続・発展するまち（通称「エコまち」）を実現するため、区民協議会である「西区環境まちづくり協議会」の活性化を図るとともに、同協議会が実施する活動を支援します。



【活動例】

- ◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区子ども自然学校」
西区の自然の中で、季節に応じたプログラムを行う自然体験教室
- ◆「親子で環境満喫バスツアー」
リサイクルや省エネ啓発を目的とした、市内環境関連施設見学バスツアー
- ◆「西区子ども環境広場」
さまざまな体験やゲームなどを通じて、楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント

琴似発寒川の環境保全推進事業

区内各連合町内会や企業等との協働による琴似発寒川の一斉清掃とやまめの稚魚放流を行います。



〈数値目標〉 一斉清掃とやまめの稚魚放流参加人数 5,000人

キッズ・シェフ

区内で生産される野菜・果物の収穫や調理の体験を通して、地産地消や食の大切さを学ぶ「キッズ・シェフ」を開催します。



「みどりの貯金箱」活動への支援

公園の落ち葉・刈草などの堆肥化、せん定枝・伐採木の活用など、みどり資源の有効活用となる「みどりの貯金箱」活動への支援や拠点づくりを進めます。



〈数値目標〉 みどりの貯金箱設置数 3ヵ所新設（7月末現在2ヶ所新設）

2 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

西区文化フェスタ

区民が気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を提供するため、区内文化施設などを活用してコンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞などさまざまなジャンルのイベントを開催します。



〈数値目標〉 来場者数 2,000人

コトニ ジャズ

地下鉄琴似駅を会場に、札幌で活躍するプロのミュージシャンが出演する本格的なジャズライブを行います。



コトニ クラシック

地下鉄琴似駅を会場に、札幌で活躍する演奏家が出演する無料のクラシックコンサートを行います。



〈数値目標〉 コトニ ジャズ、コトニ クラシック
合わせて来場者数 1,000人

コトニ☆ナイト

区内文化施設などを活用して、「創造都市さっぽろ」の推進のため、音楽、最先端の映像及び芸術（パフォーマンス）を融合したイベントを開催します。



〈数値目標〉 来場者数 300人

こども・あーと・にしく

子どもたちの創造性を喚起するため、市内外で活躍する芸術家を招いてワークショップを実施。子どもが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供します。



3 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり

地域の防災力強化

災害時の対応を円滑にするため、「西区災害対策本部訓練」を実施するとともに、基幹避難所の運営に関する研修を行い、学校や西区体育館との連携を図ります。

また、地域団体と防災関係団体が一堂に会する「西区災害防止安全対策連絡会議」を開催し、防災に関する情報の共有を図ります。

西区防災訓練や防災リーダー研修を開催するとともに、地域におけるD I G（簡易型災害図上訓練）や防災講習を実施するなど、自主防災組織の機能強化や活動支援を行います。

〈数値目標〉 防災リーダー研修の参加人数 100人



地域主体の子育て活動の充実

地域が主体となって開設している子育てサロンの活動を支援するとともに、子育てに役立つ情報を子育て情報ステーション「さんかくやまべへのへや」から発信し、必要とする子育てサービスにつなげていきます。

また、ミニイベントなどを実施し、子育て世代と様々な年代の地域ボランティアとの交流を図るとともに、地域における子育て関係機関・団体のネットワークづくりを進めます。

〈数値目標〉

子育て情報ステーション「さんかくやまべへのへや」利用者数	3,300人
子育てサロンや託児などのボランティア活動参加者数	1,650人



地域における支え合い推進

母子・高齢者・障がい者などが孤立しないよう、区役所、福祉のまち推進センター、民生委員・児童委員、障がい者相談支援事業所、地域包括支援センター等が連携して、個別支援や相談、見守りを実施し、それをさらに充実させるため、西町地区をモデル地区とした推進事業（H25～H27年度）に取り組めます。



介護予防体操の普及

介護予防体操「エコロコ！やまべ誰でも体操」が、各地区のイベントで実施されるなど、さらに区民の身近なものになるよう啓発を行います。また、引き続き普及員養成講座を行い、受講後の活動内容をホームページで紹介します。

〈数値目標〉 新規普及員養成受講者数 60名



4 地域と共に進めるまちづくり

地域の課題解決をまちセンがサポート

区内に8カ所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指します。

区内のまちづくり活動の情報発信

広報さっぽろや西区ホームページなどで、各地域のまちづくり活動を広く紹介し、活動の担い手の発掘や参加の促進に貢献します。

西区広報動画「西区まちあるきノオト」

西区の特性を生かしたまちづくり活動が促進されるよう、西区の歴史・文化・四季の自然・名所などを紹介する広報動画の視聴を区民に働きかけます。

(<http://www.city.sapporo.jp/nishi/syoukai/machiarukinooto/>)



西区花とみどりの回廊づくり

道路景観の向上を目指し、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくりにおいて愛称等の周知や、沿道の企業・住民との協働による歩道美化などを進めるほか、幹線道路の植樹ます等への花植えによる歩道美化や新川コスモス街道づくりを地域住民との協働で行います。

〈数値目標〉

ラベンダー通り	
植樹帯等へ植栽	4,000株
新川コスモス街道	
除草、植樹え実施距離	2.5km



西区シンボルロード“ラベンダー通り”
(二十四軒手稲通中央分離帯のラベンダー)